

食欲の秋！  
気づいたら体重が!?  
のんちゃん、  
かみちゃんです。



# のがみ通信

10月

2021年10月号・NO.138



## 合鴨農法



新米チラシ“はつゆき新潟秋号”9月9日から10月30日まで新米キャンペーンを開催しております！

令和3年 新潟県産米も順調に収穫が進み、また品質、食味なども例年並みで良好です。

今回は、魚沼コシヒカリ合鴨栽培、渡辺さんの合鴨農法をご紹介します。

合鴨農法は、農薬散布をしない代わりに合鴨を水田に放し、水田にいる害虫と棚草を食べる事で実に理に叶った自然農法です。しかしリスクもあり栽培期間は常に天敵（狸、狐、鳥類など）に捕られる確率も高い為、合鴨を飼育するにも一苦労です。



合鴨の役割は他にもあります。

- ① 合鴨が水田を泳ぐことで肥料分が攪拌され、稲の全体に栄養が行き渡ります。
  - ② 合鴨が日常、稲間生息する害虫駆除をする行動が稲茎に刺激を与え、根が丈夫になり生育過程でしっかりとした稲に育ちます。
- この2点が食味を高めるポイントです。

合鴨栽培は反あたりの生産量が少ないため、価格も高くなってしまいます。また、無農薬で栽培する為には土壌作りがとても大切になるため、秋冬には土壌を大切に育成されています。渡辺さんから説明を受け、改めて勉強させて頂きました。また、他の生産者の方々もお米を美味しくする為に様々な工夫や努力をして取組まれています。

お米の生産情報についてはまた改めておしらせいたします。ご質問等ございましたら何なりとお申し付けください。

## おかげ様で70周年

今回の新米キャンペーンチラシでこのロゴをご覧になされたかと思えます。



弊社はこの4月1日で70周年を迎えました。お客様あつての創業70周年、ご愛顧頂きまして誠にありがとうございます。引き続き宜しくお願い申し上げます。

本来ならば、4月から告知をしていく方向でしたが、コロナによる非常事態宣言化ということもあり半年間控える事にしました。

今回新米チラシから70周年ロゴを記載させて頂き、今後は令和5年春号までのチラシ、ご飯のおとも、またはホームページ内にも載せて行く予定です。

## まろやか玄米



玄米は白米に比べ、ビタミン、ミネラル、食物繊維をバランス良く多く含み、咀嚼回数が増える事でダイエットに向き、健康食品としても喜ばれています。

春に試験販売をしていた玄米商品、“まろやか玄米”を秋の新米から正式に販売させていただきます。白米と同様の浸水時間で簡単にお手軽に玄米の栄養を摂ることができるので、白米に少量混ぜて炊いてもよし！そのまま玄米だけで食べてもよし！

いろいろな炊き方でぜひ  
ご賞味ください！



(株)野上米穀

〒940-0087

新潟県長岡市千手 2-10-20

TEL:0120-058-041

FAX:0258-84-7738

E-mail:kome@nogami-kome.jp